

出演者 コメント・プロフィール



岡山 天音

一体どんな世界がそこに広がっているのか、僕にとっても新しい何かと出会える予感がしています。まだまだ作品の全貌は見えていません。

ですが、一緒に今作を作り上げるチームの皆様のエネルギーをたらふく血肉に変えて、この作品だけにしか巻き起こせない渦の、一員になれたらいいなと思っています。今作が皆様にとっても、何かと出会うきっかけになる事を願っております。

おかやまあまね 俳優 1994年生まれ。2009年にドラマ「中学生日記 シリーズ」でデビュー以来、多くのドラマや映画作品に出演。2017年公開「ポエトリーエンジェル」（飯塚俊光監督）で第32回高崎映画祭最優秀新進男優賞を受賞。主な出演映画に「笑いのカイブツ」（滝本健吾監督・24年）、「ある閉ざされた雪の山荘で」（飯塚健監督・24年）、「キングダム」（佐藤信介監督・24年、23年、22年）、「BLUE GIANT」（23年）、「さかなのこ」（22年）など。ドラマではNHK「パーセント」（24年）、「KTV「アンメット」（24年）、「日曜の夜ぐらいいは…」」（23年）、「TBS「最愛」（21年）など。舞台では「VAMP SHOW」脚本:三谷幸喜・演出:河原雅彦（22年）、「hana-1970、コザが燃えた日-」演出:栗山民也（22年）、「ビビを見た!」作:大海赫、演出:松井周（19年）など。



坂本 美雨

森山開次さんの手がける舞台に出演することは長年の願いでした。それが叶ったのが、2020年初演の身体表現による舞台『星の王子さま』でした。

その後、友人である蓮沼執太さんに誘っていただきパラリンピック開会式に歌で関わったことにより、和合由依さんとの出会い、彼女の表現力に深い感銘を受けました。

今回の舞台は、これまで紡いできたいくつもの出会いが新しい場所へ向かいます。

この列車は誰を乗せて、どこへ向かうのでしょうか。みんな、幸せな場所へ辿り着けますように。

さかもとみう ミュージシャン

1980年、音楽一家に生まれ、東京とNYで育つ。1997年「Ryuichi Sakamoto feat. Sister M」名義で歌手デビュー。音楽活動に加え、ラジオテレビ司会、ナレーション、執筆、演劇など表現の幅を広げている。

2011年TOKYOFM/JFN系全国ネット『坂本美雨のディアフレンズ』のパーソナリティを担当。

2024年NHK Eテレ「日曜美術館」司会に就任。

2020年森山開次演出舞台『星の王子さま-サン=テグジュペリからの手紙』に出演（2023年に再演）。

2021年東京2020パラリンピック 開会式でパラ楽団のボーカルとして「いきる | LIVE」を歌唱。

2023年12月に韓国（ソウル）でワンマンライブを開催した。最新作はEP『あなたがだれのこどもであろうと』。

動物愛護活動をライフワークとし、著書『ネコの吸い方』や愛猫“サバ美”が話題となるなど、“ネコの人”としても知られる。児童虐待を減らすための『こどものいのちはこどものもの』の発起人の一人でもある。

アーティストによるガザの人道支援を集めるためのオークション《Watermelon Seeds Fundraiser》を2024年8月、11月に開催し支援の輪を広げている。

出演者 コメント・プロフィール



KAZUKI (北園知輝)

東京2020パラリンピック開会式のパフォーマンスを受け継がれた、「TRAIN TRAIN TRAIN」の作品に携われて大変光栄です。

そして、2025年のデフリンピックに向けて同時に作品が出ることはろう者である私にとっては凄く感慨深いです。

本当の旅はまだ終わっていません。

1人1人の夢を持っている人々が集まる蒸気機関車に、どんな物語がどんな世界があるのだろうか、私自身はもう今からでもワクワクしています。

1つのカタチとして未来につながるメッセージを最高の仲間達と駆け抜けましょう。

かずき (きたぞのかずき) ろう者。俳優・身体表現者・デフパフォーマー

様々な身体表現者として活動。音楽のある手話表現、無音コンテンポラリー、手話ポエム、また、VV(ビジュアルバーナー・キュラー)にも挑戦中。ろう者による視覚的な表現手法を用い、様々なパフォーマンスでろう者も聴者も誰もが観て楽しめる世界観に挑戦している。映画・舞台俳優としても活動。映画『ヒゲの校長』『沈黙の50年』出演他、手話裁判劇『テロ』にて第1回関西えんげき大賞 最優秀作品賞受賞、全国手話パフォーマンス甲子園審査員、九州国際ダンスコンベンションバリエーション部門 準優勝、日韓ワールドダンス大会パラ部門 優勝、デフアクトーズ2期生。NHK「おはよう関西」出演。東京2020パラリンピック開会式にはパフォーマーとして出演。



はるな愛

パラリンピックの開会式で初めて森山開次さんに出会いました。あの時はコロナ禍でそれぞれの与えられた役割がどういった役割なのか分からないまま、みんな手探りで練習をしていた思い出があります。

国立競技場でみんなと出会って1つの作品の全貌が見えた時にそれぞれの個性が大切に描かれていて、その中の1人であることに誇りを持ちました。

それぞれの人が持つ力を大切にしてくれる森山開次さん。

「TRAIN TRAIN TRAIN」はどんな舞台になるのか今からワクワクしております。そして、出演させていただくことを大変光栄に思っております。

皆さん是非、劇場に足を運んでください。

はるなあい 歌手・タレント

アイドル松浦亜弥のコンサート音源を流し口パクで完コピする「エアあやや」で大ブレイク。タイで行われた「ミスインターナショナルクイーン2009」で世界第1位となる。2010年『24時間テレビ』のチャリティーマラソンランナーに抜擢され完走。2021年東京2020パラリンピック開会式でオープニングパフォーマーとしてトップバッターを飾る。つい先日には、EXPO2025 大阪・関西万博のスペシャルサポーターに就任した。

歌手として毎年ライブを行いながら、テレビ・ラジオ番組、広告、イベントにも出演し、人権にまつわる講演会にも呼ばれる他、実業家としての顔も持つ。また、被災地支援や子ども食堂などのボランティアにも力を入れている。経歴 ミスインターナショナルクイーン2009 優勝 / エンジェルオブタレント2009 優勝 / ベストジーニスト2010 受賞 / ネイルクイーン2011 受賞 / 出雲観光大使 / 韓国観光名誉広報大使

オーディション応募要項

舞台「TRAIN TRAIN TRAIN」では出演者オーディションを開催します。障害の有無にかかわらず、応募条件に合う方ならどなたでもご応募いただけます。

“本作の趣旨に賛同し、第一線のクリエイターが集うカンパニーで共に新しい創作に挑み、最高のパフォーマンスを届けたい。” 皆さまからの挑戦をお待ちしています。

【応募方法】

<https://ws.formzu.net/fgen/S21547241/>



以降の応募要項をご確認の上、上記WEBフォームよりご応募ください。

応募期間 11月18日（月曜）10:00～12月9日（月曜）23:59

【応募要項】

1) 稽古・本番期間/会場

① 稽古場リハーサル

2025年10月1日（水曜）～11月下旬 10:00-21:00 東京都中央区（予定）

② 劇場リハーサル・本番

2025年11月下旬～11月30日（日曜） 9:00-22:00 東京芸術劇場プレイハウス

- * リハーサル・本番は上記期間を予定、本番は複数日程を予定しています。
- * 上記日程の中で、シーン別にスケジュールを組んでお伝えします。
- * 上記期間前に、顔合わせや撮影、ワークショップなどが入る可能性があります。
- * ①で参加が難しい日時がある方は応募時に必ずご記入ください。
- * ②は原則、終日スケジュールの確保をお願いします。
- * 本番の上演時間は約20分間の休憩を挟んで約2時間、全4-5ステージ程度を予定しています。

2) 応募資格

- ・年齢16歳以上（2025年10月1日時点） ※1
- ・障害の有無、性別、国籍は問いません ※2
- ・身体表現に意欲がある方。
- ・本人が自ら主体的に創作に参加し、最高のパフォーマンスが出せるよう努力できる方。
- ・本作の趣旨に賛同し、第一線の表現者やスタッフと共に創作すること、また多様な表現者が集うカンパニーで共に新しい創作に挑むことに強い意欲のある方。
- ・スケジュール調整が可能で、休まずリハーサルと本番に参加できる方。
- ・会場までの移動手段や必要な介助者をご自身で用意できる方。
- ・個人・事務所いずれからの応募も可能ですが、上記の条件を本人が満たせる場合に限りです。

※1 応募資格は2025年10月1日の時点で16歳以上の方。ただし、応募締め切り時点で未成年の方（2024年12月9日時点）は、審査の過程で保護者の方の同意書を提出いただけます。

※2-1 2025年10月1日～12月1日までの期間、日本国籍・日本に滞在する在留資格を有する方。

※2-2 ご本人、または保護者、同伴者等を通じて日本語・日本手話での意思の疎通ができる方。
保護者や同伴者等は、リハーサルおよび本番中は別場所で待機していただきます。

(前頁続き)

3) 出演料

- ・既定の出演料をお支払いします。

4) 募集人数・役柄等

- ・募集人数：若干名（5名程度を想定）
- ・募集役柄：決まった役柄での募集ではありません。個性や特技に応じて、個々に役柄を創作していきます。

5) 選考スケジュール

- ・2024年12月9日（月曜） 応募締切
- ・2024年12月23日（月曜）～25日（水曜） 一次審査(書類・動画審査)の結果通知（予定）
- ・2025年1月18日（土曜）・19日（日曜） 二次審査（面談・実技）@東京都新宿区（予定）
 - * 審査は上記2日のうちいずれか1日を予定。
 - * 応募時に二次審査の参加可能日・可能時間を全てご記入ください。
- 2025年1月28日（火曜） 最終選考結果発表**
 - * 一次審査の際、メールや電話等で稽古本番の参加にあたって、参加の意欲及び個々に配慮すべき事情があるか等のヒアリングを行う場合があります。
 - * 二次審査は、書類・映像による一次審査及び上記ヒアリングを通過された方にメールまたは電話等でご案内させていただきます。
 - * 二次審査では、手話言語通訳が入ります。

6) 応募の際の記入項目（応募フォームに従ってご入力ください）

- ・氏名、生年月日、連絡先（住所・電話・メールアドレス）
 - * 保護者・介助者がオーディション・リハーサルに同行する場合は、その氏名、連絡先もご入力ください。
- ・身長、体重、性別（男・女・答えない）
- ・写真 上半身（肩から上）と全身
- ・経歴（書式自由）
 - * 舞台や映像等での出演作品、レッスン歴・受賞歴等のある方は具体的に記載ください。
 - * アピールしたい経歴、特記事項等がある場合はご記載ください。
- ・応募動機（書式自由） 400文字以内
- ・動画（URLを記入）
 - * ご自身の個性や特技を活かしたパフォーマンスがわかる3分以内の映像(2本以内)
 - * 動画送付：映像共有サイト等を利用し、URLを記載ください。
 - * 動画は2025年11月30日（日曜）まで閲覧ができるようにしてください。
 - * ダウンロードや閲覧に期限があるサービスは使用しないでください。
- ・障害の有・無
 - * 障害がある場合に、ご記載いただく事項
 - 種別（障害者手帳をお持ちの方は手帳の種類とその等級）
 - 使用している補助具など（電動車椅子、白杖、杖、補聴器、人工内耳など）
 - 必要な配慮（リハーサル時の手話言語通訳、多機能トイレなど）
 - 二次審査に同伴する方がいる場合はそのお名前とご関係

【オーディションに関するお問合せ】

東京芸術劇場

電話 03-5391-2115（平日11:00～16:00） FAX 03-5391-2215

メールアドレス train3@geigeki.jp ※設備更新工事のため、2025年7月までの期間、休館しております（予定）。

多様な個性が躍動し感動を呼んだ 東京2020パラリンピック開会式 その絆/レガシーから生まれる新たな冒険譚 舞台『TRAIN TRAIN TRAIN』

2021年 東京2020パラリンピック開会式
「WE HAVE WINGS = 私たちには翼がある」をコンセプトに
片翼の小さな飛行機の物語が展開されました。

700人を超える出演者の中心で「片翼の小さな飛行機」を演じたのは
車いすに乗る少女。一般公募で選ばれた当時13歳の和合由依。

多様な個性が躍動する姿を圧巻のパフォーマンスを通じて
芸術的に描いたこの式典は、無観客ながら映像を通じて多くの
視聴者に感動をもたらし、国内外から高く評価されました。
それから4年後となる2025年秋、世界陸上・デフリンピックの開催を
契機に**その絆/レガシーから新たな物語**が生まれます。



写真：長田洋平/アフロスポーツ

東京2020パラリンピック開会式の
演出・チーフ振付を務めた森山開次を演出・振付に
「片翼の小さな飛行機」を演じた和合由依をキャストの軸に迎え
障害の有無を超えた多様な個性が集うカンパニーで綴る冒険譚です。



イメージスケッチ 森山開次画

本作のモチーフは「Train」。車いすの少女が不思議なSLと旅をする
物語を、**身体表現に音楽、言葉を交えて綴り、才能豊かなキャスト
アーティストが多彩に表現**します。

また、観客へのアクセシビリティにも配慮し
障害の有無を越え、誰もが共に楽しめる創作に挑戦します。

【開催概要】 TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム 『TRAIN TRAIN TRAIN』

- | | |
|--------------------|---|
| (1) 公演時期 | 2025年11月下旬 |
| (2) 会場 | 東京芸術劇場 プレイハウス |
| (3) 演出・振付 | 森山開次 (東京2020パラリンピック開会式の演出・チーフ振付) |
| (4) 音楽 | 蓮沼執太 (東京2020パラリンピック開会式にてパラリンピック讃歌編曲、パラ楽団指揮) |
| (5) 出演 | 和合由依 岡山天音 坂本美雨 KAZUKI はるな愛 ほか
(11/28 出演者情報公開) |
| (6) アクセシビリティディレクター | 栗栖良依 (東京2020パラリンピック開閉会式ステージアドバイザーとしてDE&Iを総合監修) |
| (7) アクセシビリティアドバイザー | 廣川麻子 (TA-net、東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野
東京芸術劇場社会共生委員) |
| (8) スペシャル・アンバサダー | ウォーリー木下 (東京2020パラリンピック開会式総合演出) |
| (9) 企画制作 | 東京芸術劇場 |
| (10) 主催 | 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 |

【TOKYO FORWARD 2025 文化プログラムとは？】

世界陸上・デフリンピックが東京で開催される2025年に、東京2020大会のレガシーを継承・発展させて展開する「多様な参加者をつとい・つながり・つくりあげる」3つのアートプロジェクト。

「まつり」をテーマとした「TOKYO わっしょい」、ろう者と聴者が遭遇する舞台作品「黙るな 動け 呼吸しろ」、東京2020パラリンピック開会式のレガシーを受け継ぐ新作公演「TRAIN TRAIN TRAIN」を通じ、東京の持つ芸術文化の魅力を発信し、共生社会の実現に向けた歩みを進めるとともに、両大会を芸術文化を通じて盛り上げます。